



第8回近畿介護支援専門員研究大会 和歌山大会

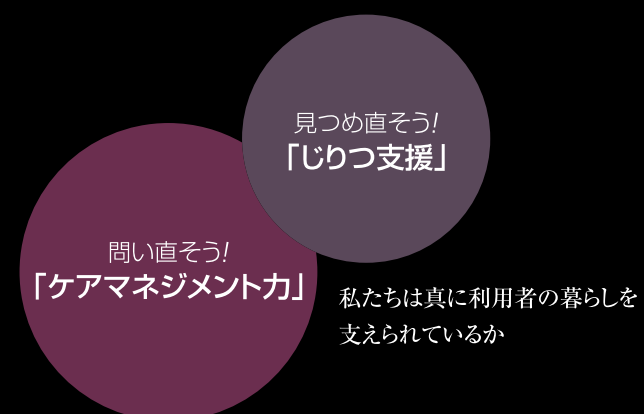
大会事務局 特定非営利活動法人和歌山県介護支援専門員協会
〒640-8319 和歌山市手平2丁目1番2号 和歌山ビッグ愛12階
TEL:073-421-3066 FAX:073-421-3067
E-mail: wcma@mountain.ocn.ne.jp

第8回近畿介護支援専門員研究大会 和歌山大会

大会要項

会期: 平成21年2月14日(土)～15日(日)

会場: 紀南文化会館・田辺地域職業訓練センター・田辺市青少年研修センター



- この冊子の用紙には、環境に配慮した植林木を使用しています。
- この冊子は環境に配慮した植物性大豆インキを使用しています。



写真提供: 田辺市熊野ツーリズムビューロー

写真: 日本におけるナショナルトラスト運動の先駆けの地、天神崎
写真提供: 田辺市熊野ツーリズムビューロー

第8回近畿介護支援専門員研究大会 和歌山大会

① 主 旨

平成18年度の介護保険制度改正から見直しの3年目を迎えようとしています。その間、介護予防や地域包括支援など様々な取り組みがなされてきましたが、われわれ介護支援専門員はその第一線に立って、制度定着と利用者の自立支援に大きく寄与してきました事はいうまでもありません。

そして、介護支援専門員が行う介護支援サービス(ケアマネジメント)の職域はこれまでの居宅介護支援事業所や施設だけにとどま

らず、地域包括支援センターや小規模多機能施設など大きな広がりを見せ、利用者支援のためにそれぞれの職域での援助技術・資質の向上が求められています。

本大会では上記の趣旨をふまえ、ケアマネジメント力の向上を図るとともに、真の自立支援に向けたケアマネジメント研究をすすめることを目的として開催することとします。

② テ ー マ

問い直そう!「ケアマネジメント力」

見つめ直そう!「じりつ支援」

～私たちは真に利用者の暮らしを支えられているか～

③ 主 催

特定非営利活動法人和歌山県介護支援専門員協会・社団法人京都府介護支援専門員会

特定非営利活動法人兵庫県介護支援専門員協会・滋賀県介護支援専門員連絡協議会

特定非営利活動法人奈良県介護支援専門員協会・社団法人大阪介護支援専門員協会

④ 後 援 (予 定)

厚生労働省、有限責任中間法人 日本介護支援専門員協会、和歌山県、田辺市（依頼中）

⑤ 開 催 日 程

平成21年2月14日(土)・15日(日) 2日間

⑥ 参 加 対 象 者

各都道府県介護支援専門員協(議)会会員、福祉・保健・医療関係者、行政機関関係者、その他一般

⑦ 参 加 予 定 数

800人(定員を超えた場合、参加をお断りすることがあります。)

⑧ 参 加 費

会員 7,000円 非会員 10,000円

※会員:各都道府県介護支援専門員協(議)会会員

※参加申込締切は、平成21年1月9日(金)とさせていただきます。

9日(金)以降のお申込みおよび当日参加の場合、会員 8,000円、非会員 11,000円とさせていただきます。

※2月14日(土)18時より懇親会を開催いたします。懇親会費用は、お1人様5,000円です。



⑨ お 問 い 合 わ せ 先

特定非営利活動法人和歌山県介護支援専門員協会

事務局所在地: 和歌山市手平2丁目1番2号 和歌山ビッグ愛12階

TEL:073-421-3066 FAX:073-421-3067

E-mail: wcma@mountain.ocn.ne.jp

⑩ 会 場

紀南文化会館

和歌山県田辺市新屋敷町1番地 TEL:073-925-3033 <http://www.kinanbunkakaikan.jp/>

田辺地域職業訓練センター

田辺市青少年研修センター ※いずれも紀南文化会館横となります。



⑪ 日 程

■1日目◎2月14日(土)

- 12:00 受付開始
- 13:00 開会式 来賓、主催者挨拶
- 13:30 情勢報告 「介護保険制度平成18年度改正の振り返りと今後について(仮題)」
～介護保険制度改定の意味と介護支援専門員に望むこと～ 厚生労働省 老健局(依頼中)
- 14:30 休憩
- 14:45 鼎談「ケアマネジメント力と“じりつ”支援」
鼎談者 大阪市立大学大学院 教授 白澤 政和氏
立命館大学大学院先端総合学術研究科 教授 立岩 真也氏
愛知淑徳大学医療福祉学部福祉貢献学科 教授 谷口 明広氏
- 17:15 一日目終了
- 18:00 懇親会
会場: ガーデンホテル ハナヨアリーナ
※懇親会終了後、ガーデンホテルハナヨ6階にて情報交換会を開催いたします。
費用は、お1人様 3,000円です。当日お支払いください。

■2日目◎2月15日(日) ケアマネジメント・介護支援専門員研究実践事例発表会

- 9:00 受付開始(発表者集合時間)
- 9:30 事例発表開始
学術研究・実践事例発表分科会テーマ
1. 多問題事例への対応
2. 医療との連携
3. 多様な住まいに対応したケアマネジメント
4. 認知症のケアマネジメント
5. 地域包括ケアと介護予防の実践
ワークショップ 『ケアする私たちへのスピリチュアルケア』
～援助者としてのストレスを乗り越えるために～
コーディネーター 飛騨千光寺 住職 大下 大圓氏
- 11:45 休憩 紀南文化会館大ホールへ移動
- 12:00 全体会 大会総括 有限責任中間法人 日本介護支援専門員協会 会長 木村 隆次
- 12:30 閉会式
- 12:45 終了



■大会記念◎特別公開講座

- 13:30 開会挨拶
- 13:45 講演内容(未定) 参議院議員 舩添 要一氏
- 15:30 終了

⑫ 鼎 談 者 プ ロ フ ィ ー ル

白澤政和氏（しらさわ まさかず）

1949年、三重県名張市生まれ。1974年大阪市立大学大学院家政学研究科社会福祉学専攻修士課程修了。大阪市立大学大学院生活科学研究科教授。社会学博士。現在、社団法人日本社会福祉士養成校協会会長、日本在宅ケア学会副理事長、日本ケアマネジメント学会理事などを務める。著書に、『ケースマネージメントの理論と実際―生活を支える援助システム』（中央法規出版 1992）、『生活支援のための施設ケアプラン―いかにケアプランを作成するか』（中央法規出版 2003）、『ストレングスモデルによる介護予防ケアマネジメント』（中央法規出版 2007）

立岩真也氏（たていわ しんや）

1960年、佐渡島生まれ。専攻は社会学。東京大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。千葉大学、信州大学医療技術短期大学部を経て現在立命館大学大学院先端総合学術研究科教授。著書に『生の技法―家と施設を出て暮らす障害者の社会学』（共著 藤原書店 1990、増補・改訂版1995）、『私的所有論』（勁草書房 1997）、『弱くある自由―自己決定・介護・生死の技術』（青土社 2000）、『自由の平等―簡単に別な姿の世界』（岩波書店 2004）、『ALS―不動の身体と息する機械』（医学書院 2004）、『希望について』（青土社 2006）、『所有と国家のゆくえ』（共著、NHK出版 2006）、『良い死』（筑摩書房 2008）、『唯の生』（筑摩書房 2008近刊）

谷口明広氏（たにぐち あきひろ）

1956年、京都市生まれ。生後間もなく重症黄疸のため脳性マヒとなり、四肢および体幹機能障害で車いすを使用。1980年桃山学院大学社会学部社会学科卒業。2001年同志社大学大学院文学研究科社会福祉学専攻博士後期課程満期退学。2005年社会福祉学博士（同志社大学）取得。愛知淑徳大学医療福祉学部福祉貢献学科学教授。（有）自立生活問題研究所所長（1987年～）著書に『障害をもつ人たちの自立生活とケアマネジメント―IL概念とエンパワメントの視点から』（ミネルヴァ書房 2005）『自立生活は楽しく具体的に―障害をもつ人たちの「個人別プログラム計画」』（共著、かもがわ出版 1994）『障害をもつ人たちの性―性のノーマライゼーションをめざして』（明石書店 1998）

⑬ 分 科 会 概 要

分 科 会 主 旨

介護支援専門員が目指すところは、利用者の自立であり、ケアマネジメント力は正にこの事に対応できる専門職としての価値・技術・知識が備わっていることだと考えます。そして、私たちは真に利用者の暮らしを支えられているかを問いながら、この各分科会でケアマネジメント力の向上を共に図っていきたいと思います。

第 1 分 科 会 『 多 問 題 事 例 へ の 対 応 』

介護支援専門員は日々様々な生活障害を持つ人たちに対して、幅広い視点から支援を展開していくため、当然多くの解決しがたい困難にも直面し、困惑することがある。
そこで、この分科会では困難な問題を抱える利用者やいわゆる多問題といわれるケースへのかかわり方と、それを支える関係機関の現状や課題等について考察を深める。

【キーワード】
●虐待 ●エンパワメント
●アドボカシー ●権利擁護
●経済問題 ●住宅問題 ●家族関係
●接近困難事例 ●独居 ●ホームレス

第 2 分 科 会 『 医 療 と の 連 携 』

介護支援専門員が医療の専門職と共に利用者の生活支援を行っていく事は当然のことであり、後期高齢者医療制度の中でも「医療との連携」の重要性がうたわれている。しかし、ケアマネジメントの現場では、それが十分に機能していないことが多いといわれている。
そこで、この分科会では、介護支援専門員が医療との連携を有効かつ効率的に行い、利用者の生活支援に成功したケースへのかかわりなどを通して、「医療との連携」の現状や課題等について考察を深める。

【キーワード】
●主治医との連携 ●歯科医師との連携
●薬剤師との連携 ●連携シート活用
●難病 ●退院支援 ●ターミナルケア
●リハビリテーション

第 3 分 科 会 『 多 様 な 住 ま い に 対 応 し た ケ ア マ ネ ジ メ ン ト 』

これまで、介護保険制度を利用した住まいといえば、介護保険施設が中心であったが、個人の価値観やライフスタイル、そしてその個人を取り巻く環境の変化に伴い、高齢者の住まいのあり方が変化・多様化しつつあることも事実である。

そこで、この分科会では、介護保険施設を含めた多様な住まいにおける利用者の望む暮らしに対して、介護支援専門員はどう関わっていくべきか。その現状や課題をひも解きながら、そこで行われるケアマネジメントのあり方や実践方法等について考察を深める。

【キーワード】
●介護保険施設
●施設ケアマネジメント
●グループホーム
●特定施設入居者生活介護
●高齢者向け住宅

第 4 分 科 会 『 認 知 症 の ケ ア マ ネ ジ メ ン ト 』

認知症になっても地域の中で安心して生活していくためには、介護支援専門員をはじめとする本人を取り巻く関係者が手を取り合ってサポートしていかなければなりません。
そこで、居宅・施設・居住系サービスを問わず、現場での実践事例を通して、認知症の人々のケアマネジメントやケアのあり方について考察を深めます。

【キーワード】
●小規模多機能型居宅介護
●認知症予防
●センター方式
●パーソンセンタードケア

第 5 分 科 会 『 地 域 包 括 ケ ア と 介 護 予 防 の 実 践 』

在宅の高齢者に対して住みよい環境を提供していくためには、介護支援専門員に地域の人々や各種専門職間の幅広いネットワークが求められます。

そこで、介護支援専門員は、地域の中でどのような人々とのような連携を組めばよいのか、実践事例を通して地域ネットワークにおける介護支援専門員の役割、ネットワークのあり方について考察を深めます。

【キーワード】
●介護予防 ●シームレスケア
●地域包括支援センター
●主任介護支援専門員
●ネットワーク構築 ●地域福祉
●社会資源開発

ワークショップ

『 ケアする私たちへのスピリチュアルケア 』 ～援助者としてのストレスを乗り越えるために～

コーディネーター

おおした だいえん

大 下 大 圓 氏



プロフィール

「人間存在のあり方」「心のケアの仕組み」「心の教育」等、人の生きる根源となるスピリチュアリティやスピリチュアルケアについて講演。長年の臨床経験やボランティア活動を通し、生と死の現場から見える“人間の生きる意味”を説く。体験者ならではの重みのある言葉は心に響くと好評。

●職歴・経歴

1954年 岐阜県飛騨生まれ。12歳の時に千光寺で出家。高野山大学文学部仏教学科卒業。岐阜大学教育学部研究生終了。スリランカ国ピドゥヤランカ仏教学院修行留学（テラヴァダー得度コース）。和歌山県の高野山で修行し（高野山阿闍梨）、スリランカ国へ留学、スリランカ僧として得度研修。帰国後、地元教育委員会で社会教育担当（3年）。飛騨で約25年前より「いのち、生と死」の学習会として「ビハーラ飛騨」を主宰。その活動から、病院や在宅への専門的なボランティアとして「ひだ医療福祉ボランティアの会」を結成、“ベッドサイドのボランティア活動”を続ける。また、2007年9月 日野原重明氏を会長とする「日本スピリチュアル学会」を中心的に設立、理事に就任。2008年3月まで、高野山大学スピリチュアルケア学科客員教授を務める。現在、飛騨千光寺住職のかたわら仏教、医療、看護、人文系の大学で教鞭をとる。

●著書

『いい加減に生きる』『他人の力を借りていいんだよ』『癒し癒されるスピリチュアルケア』他多数

●活動内容

NPO法人日本スピリチュアルケアワーカー協会副会長として、ワーカー養成にあたるとともに、自らも内科クリニックの臨床スピリチュアルケアワーカーを務め、医療チームの一員として患者や家族の精神的ケアにあたる。飛騨千光寺では「心の研修」に関する様々な宿泊研修を手がけて、医療・福祉・教育における「スピリチュアルケア」や「ケアする人のケア」を探究。現場活動を重視している。

ケアマネジメント・介護支援専門員学術研究 実践事例発表の募集について

大会第2日目において、ケアマネジメント・介護支援専門員関係の学術研究・実践事例発表者を募集します。発表時間はお1人10分です。この分科会の全体を通してのサブテーマは、「私たちは真に利用者の暮らしを支えられているか」です。今後は活発なディスカッションのできるものにしたいと考えますので、よろしくお願いいたします。なお、学術研究・実践事例発表は平成21年2月15日（日）午前中となります。

① 学 術 研 究 ・ 実 践 事 例 分 科 会 テ ー マ 募 集 要 項

第1分科会

多問題事例への対応

第2分科会

医療との連携

第3分科会

多様な住まいに対応した
ケアマネジメント

第4分科会

認知症のケアマネジメント

第5分科会

地域包括ケアと
介護予防の実践

② 発 表 申 込 資 格

発表者は、近畿介護支援専門員協（議）会の会員もしくは、有限責任中間法人 日本介護支援専門員協会の会員とします。

③ 発 表 申 込 締 切 ： 平 成 2 0 年 1 1 月 2 8 日 （ 金 ） レ ジ ュ メ （ 抄 録 ） 締 切 ： 平 成 2 0 年 1 2 月 1 5 日 （ 月 ）



④ レ ジ ュ メ 作 成 要 領

様式 下記の様式をレジュメの頭部につけて提出してください。

（記載例）

演題名

〇〇における介護支援専門員の実践と課題

～□□氏の事例から考察する～

（氏名等） 名前（所属・職名）

●共同研究者がいる場合

○和歌山 太郎（△△事業所・介護支援専門員） 和歌山 花子（□□病院・看護師）

1. レジュメは原則として1件A4サイズ2枚までとします。

上記の様式をレジュメの頭部につけ、発表申込書にあるE-mailアドレスに添付してお送りください。レジュメは必ずWordで作成してください。一太郎で作成されたレジュメは、受け付けませんのでご注意ください。

レジュメ提出先: kayo_asasaka@nta.co.jp

2. 書き方

- 「演題名」は16ポイントのMS明朝体で、最上段の第1行目から2行目のほぼ中央部を使用し、副題がある場合は改行してください。
- 「氏名等」は、11ポイントのMS明朝体で第4行目から5行目ほぼ中央部を使用してください。共同研究者が口頭発表者となる場合は、最初に○印をつけ口頭発表者名を書いてください。
- 「本文」は第7行目の左から「目的」「方法」「結果」「考察」「結論」および「文献」などの見出しを必ず付けてください。活字の大きさは10.5ポイントのMS明朝体で、2段組にし、図表や写真も含めて必ず枠内に収めてください。
- 図表および写真のタイトルは、図・写真が下、表が上で大きさに注意して作成してください。

3. 注意事項

- 業務の内容を逸脱せず、倫理的に正しい内容にしてください。
- なお、事例に関する個人情報の保護・人権擁護につきましては、発表者が十分ご配慮くださいますようお願いいたします。
- 「目的」は、必ず作業仮説（なぜこの研究を行うのか、どのような症例や手段を使うのか）を書き、「方法」は内容を具体的に記し、追試が可能であり、「結果」では調査結果を明確にし、多数例では統計的処理を行ってください。また、考察はこの研究のどの部分が、どの程度社会に役立ち（意義があり）、新しい発見であるのか、他人の考え（文献）と比べてどこが違うのかを述べ、「文献」は本文に引用したものだけを記載してください。
- 本文中に「スライド番号」を記載しないでください。
- 文体は「である調」で作成し、謝辞は不要です。
- 査読の結果書き直しをお願いすることもありますので、ご了承ください。
- 原稿などは一切返却いたしません。

⑤ 発表の際の留意事項

ケアマネジメント・介護支援専門員学術研究 実践事例発表にお申込みをいただいた方には、レジュメを提出後、発表に関する詳細を申込書に記載いただきました E-mail へご案内いたします。

⑥ 発表申込先

株式会社日本旅行 西日本営業本部 企画販売部
ブランドゥ・ジャパンデスク 担当:浅阪(あささか)
TEL:06-6312-0461 FAX:06-6312-0462
E-mail:kayo_asasaka@nta.co.jp

⑦ 申込書

右記の申込用紙にご記入の上、平成20年12月15日(月)までに直接事務局へFAX、もしくは電子メールに添付してお送りください。



第8回近畿介護支援専門員研究大会 和歌山大会

ケアマネジメント・介護支援専門員研究 実践事例発表申込書

E-mail: kayo_asasaka@nta.co.jp
FAX:06-6312-0462

下記申込書にご記入の上、平成20年12月15日(月)までにFAXもしくは電子メールに貼付してお送りください。
(できるだけ電子メールに貼付してお送りください。)

ケアマネジメント・介護支援専門員研究実践事例発表 申込書		
フリガナ		
氏 名		
フリガナ		
住 所	〒	
連絡先TEL	FAX	携帯電話
E-mail(※必須)		
発表希望 分科会番号	会 員 所 属	都道府県会員番号(日本協会会員番号)
分科会	都・道・府・県 会員	
発表テーマ・サブテーマ・発表者(所属)		

大会参加費は 平成 年 月 日に 支払いの手続きをしました。

記載された情報は、研究発表管理以外の用途には使用しません。

大会参加・懇親会・昼食・宿泊・交通のご案内

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、「第8回近畿介護支援専門員研究大会 和歌山大会」が田辺市内において開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

さて、近畿各地より大会にご参加されます皆様を当地にお迎えするにあたり、私ども株式会社日本旅行が大会参加、懇親会ならびに情報交換会、宿泊のお世話をさせていただくことになりました。つきましては、下記のとおりご案内申し上げます。敬具

① お 申 込 方 法

登録・お申込みはインターネット又はFAXでお願いいたします。

お申込みは
https://apollon.nta.co.jp/kinki-kaigo_09
FAX:073-425-1578

FAXの場合は、回答に時間を要しますので、
インターネットでのお申込みをお勧めいたします。

- お申込みいただきますと、大会参加証、分科会参加証、懇親会参加証、お弁当券、宿泊券等を1月23日（金）頃にご送付いたします。お送りした券類は、大会当日必ずご持参ください。券類の再発行はいたしませんので、紛失等には十分ご注意ください。
- インターネットでお申込みをされた方は、お申込みをされた日から1週間以内に指定口座までお振込みください。振込手数料はお客様にてご負担願います。
- FAXでお申込みを希望される方は、別紙「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、株式会社日本旅行TiS和歌山支店までFAXにてお早めにお申込みください。確認書をFAXでお送りいたしますので、確認書が届いてから1週間以内に指定口座までお振込みください。振込手数料はお客様にてご負担願います。（正確を期するため、必ず所定の参加申込書にてお申込みください。）
- 変更や取消をされる場合、インターネットでお申込みをされた方はインターネットから、FAXにてお申込みをされた方につきましては、別紙「参加申込書」の□変更、又は□取消欄に“**レ点**”をつけた上で、FAXにて送信ください。
※お電話での受付は一切いたしません。ご入金いただきました金額から取消料及び振込手数料を差し引いた金額を大会終了後、1ヶ月以内に返金させていただきます。

お申込締切日
平成21年1月9日（金）必着
（締切後も可能であれば受付いたします。）

大会参加・懇親会・昼食・宿泊・交通などのお申込みに関するお問合わせは

株式会社日本旅行TiS和歌山支店
「第8回近畿介護支援専門員研究大会 和歌山大会」デスク
〒640-8331 和歌山県和歌山市美園町5丁目61番地 JR和歌山駅構内
TEL:073-436-1388 FAX:073-425-1578
E-mail:hirotaka_koiwa@nta.co.jp

② 大 会 参 加 の ご 案 内

参加費 7,000円（会員） 10,000円（非会員）

- 上記参加費は、「第8回近畿介護支援専門員研究大会 和歌山大会」の両日参加費用となります。

「大会参加の取消料について」

お申込み後、既にお振込されました参加費の払戻しは行いません。
（当日欠席された場合は、大会終了後、資料を送付いたします。）

③ 懇 親 会 の ご 案 内

- 大会1日目終了後に懇親会があります。懇親会費は、お1人様5,000円です。
- 懇親会会場:ガーデンホテル ハナヨアリーナ
- 参加される方同士、情報交換や意見交換のために皆様お誘い合わせのうえご参加ください。

「懇親会参加の取消料について」

2月10日（火）17:00以降の取消については、
懇親会費の100%の取消料を申し受けます。

④ 情 報 交 換 会 の ご 案 内

- 2月14日（土）懇親会終了後、情報交換会を開催いたします。費用は、お1人様3,000円です。当日お支払いください。
- 情報交換会会場:ガーデンホテルハナヨ6階
- 参加される方同士、情報交換や意見交換のために皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。

⑤ 昼 食 の ご 案 内

2月14日（土）お弁当 1,000円（お茶付）
2月15日（日）お弁当 1,000円（お茶付）

- 今大会では、2日間ともお弁当を事前予約販売いたしますので、ご希望の方はお申込みください。また周辺の飲食店は混雑が予想されますので、できる限りお弁当をお申込みください。
- 完全予約制です。当日の販売はいたしませんのでご注意ください。

「お弁当の取消料について」

2月10日（火）17:00以降の取消については、
お弁当料金の100%の取消料を申し受けます。

⑥ 宿 泊 の ご 案 内

宿泊について

大会事務局では本大会に合わせ、安心してご宿泊いただける旅館・ホテルを確保、準備させていただいております。

●宿泊設定日

平成21年2月14日(土)／1泊

●朝食について

「1泊食事なし」の受付はできません。ご返金は出来ませんので、予めご了承ください。

●その他

お申込みの受付は、先着順とさせていただきますが、必ずしもご希望どおりに手配できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

宿泊プランのご案内

●宿 泊 日 平成21年2月14日(土)

●宿泊プラン代金 1泊朝食付き(税・サービス料込み)

●お部屋タイプ 田辺地区・白浜地区(基本／洋室利用・一部和室) ホテル古賀の井(和室利用)

地 区	ご 宿 泊 ホ テ ル	申込記号	お部屋ご利用人数	料金(税サ込)
田辺市内地区	A 紀伊田辺シティプラザホテル ガーデンホテルハナヨ アルティエホテル紀伊田辺 ホテル花屋 田辺ステーションホテル	A-1	1名様ご利用	7,800円
		A-2	2名様ご利用	6,500円
白浜温泉地区	B ホテルシーモア	B-1	1名様ご利用	13,000円
		B-2	2名様ご利用	12,000円
	C ホテルハーヴェスト南紀田辺	C-1	1名様ご利用	12,000円
		C-2	2名様ご利用	9,500円
		C-3	3名様ご利用	8,500円
	D ホテル古賀の井	D-1	2名様ご利用	12,500円
		D-2	3名様ご利用	11,500円
		D-3	4名様ご利用	11,000円

●FAXでお申込みを希望される方は、参加申込書の希望宿泊ホテル欄に【申込記号】をご記入ください。また、ツイン(2名1室)をご希望の場合は、同室の方のご氏名を同室希望欄にご記入ください。

●田辺市内地区のホテルについては選択できませんので、あらかじめご了承ください。

●ご宿泊ホテルの客室確保数の関係上、先着順にてご案内させていただきます。

●ご希望ホテルが満室の場合、他のホテルに変更をお願いすることがございますので、あらかじめご了承ください。

●お申込み後、お客様のご都合により変更・取消をされる場合は、下記取消料を申し受けます。

「宿泊プラン取消料について」

2月7日までの取消	無料	2月13日の取消	宿泊料金の50%
2月8日～11日の取消	宿泊料金の20%	2月14日の取消	宿泊料金の100%
2月12日の取消	宿泊料金の30%		

⑦ 交 通 の ご 案 内

交通について

下記特急に関しまして、特別料金(特急券・乗車券)を設定しております。FAXでお申込みを希望される方は、「参加申込書」のJR利用欄にご希望の特急(記号)をご記入ください。席数には限りがございますので、お早めにお申し込みください。JR座席欄の希望座席(禁煙席・喫煙席)にも○印をお願いします。先着順といたします。

団体座席の関係上、座席のご希望に添えない場合もございますので、予めご了承ください。

往路 2月14日(土)	記号	
くろしお7号	A	新大阪(9:30)発 天王寺(9:49)発 紀伊田辺(11:45)着
スーパーくろしお9号	B	京都(9:32)発 新大阪(10:03)発 紀伊田辺(12:13)着 天王寺(10:20)発
復路 2月15日(日)	記号	
くろしお26号	C	紀伊田辺(15:41)発 天王寺(17:30)着 新大阪(17:50)着
スーパーくろしお30号	D	紀伊田辺(16:35)発 天王寺(18:31)着 新大阪(18:50)着

	往復通常料金	往復特別料金	
大阪(新大阪・天王寺)発着	10,260円	8,000円	2,260円もお得
京都発・大阪(新大阪・天王寺)発着	11,090円	8,800円	2,290円もお得

「交通の取消料について(片道)」

出発の1ヵ月前～2日前 取消	530円	出発当日 取消	片道料金の100%
出発前日 取消	1,000円		

●シャトルバス

大会当日は、紀伊田辺駅→大会会場、大会会場→懇親会場、大会会場→宿泊施設のシャトルバスを運行いたします。

2日間のご利用で200円となります。シャトルバス運行計画作成の為、ご乗車希望の方は **事前申込み** をお願いします。

運行計画(予定時刻)完成後、大会HPにてご案内をいたしますのでご覧ください。(1月下旬予定)

FAXでお申込みを希望される方は、「参加申込書」のシャトルバス欄に○印をお願いいたします。

【振込口座のご案内】

みずほコーポレート銀行 十五号支店
普通預金 口座番号 3106694
口座名 株式会社日本旅行

⑧ 会場周辺図



会場

- 紀南文化会館・田辺職業訓練センター・田辺市青少年研修センター…JR紀伊田辺駅より徒歩15分
開催当日はシャトルバス(2日間のご利用:200円)を運行いたします。
お申込みは、P10 ⑦ 交通のご案内 ●シャトルバスをご確認ください。
- 会場間は徒歩で約3分

会場周辺のホテル

田辺地区

- A ガーデンホテルハナヨ(会場まで徒歩8分)
- B 紀伊田辺シティプラザホテル(会場まで徒歩8分)
- C アルティエホテル紀伊田辺(会場まで徒歩10分)
- D ホテル花屋(会場まで徒歩10分)
- E 田辺ステーションホテル(会場まで徒歩8分)

白浜温泉地区

- F ホテル古賀の井
- G ホテルシーモア
- H ホテルハーヴェスト南紀田辺

田辺への交通

高速バス (明光バス・JRバス相互運行)	JR大阪駅、なんば(OCAT)→田辺市役所前(文化会館前)下車 約2時間30分
	JR新神戸駅、三ノ宮バスターミナル→田辺市役所前(文化会館前)下車 約3時間15分

お車

大阪市内から阪神高速または近畿自動車道を経て、松原JCTから阪和自動車道経由で約130km、
終点・南紀田辺IC

⑨ エクスカーションプラン

Aコース ようおこし 南方熊楠・弁慶ゆかりの地を散策 ★参加費 1,000円

行程: 田辺→南方熊楠顕彰館・南方熊楠旧邸→海蔵寺→闘鶏神社→田辺駅
内容: 田辺の旧市街地(屋敷町)及び南方熊楠・弁慶のゆかりの地を散策



写真提供: 田辺市熊野ツーリズムビューロー



Bコース 日本一の梅林見学と紀州梅干館に行く ★参加費 2,500円

行程: 田辺→南部梅林見学→紀州梅干館→田辺駅
内容: 日本一の梅林の見学及び梅干について詳しく知る梅干館見学



【お申込み・お問い合わせ】

株式会社日本旅行TiS和歌山支店

「第8回近畿介護支援専門員研究大会 和歌山大会」デスク 担当:古岩・横出・平井
〒640-8331 和歌山県和歌山市美園町5丁目61番地 JR和歌山駅構内
TEL:073-436-1388 FAX:073-425-1578
E-mail: hirotaka_koiwa@nta.co.jp
営業時間:平日 10:00~18:00(土・日・祝日は休業)

※大会参加・懇親会・昼食・宿泊・交通等のお問い合わせは、特定非営利活動法人和歌山県介護支援専門員協会では受付けておりません。